下榎交流センターだより

編集　日野町下榎交流センター
〒689－4526　日野町下榎157番地1
電話：７２－１１９１（FAX兼）
E-mail：rinpokan@town.tottori-hino.lg.jp

七夕の由来

下榎交流センター 生活相談員　西村一成

７月10日、老人憩の家で毎週行っている百歳体操の後、七夕にちなんで笹を準備し、参加された方々と短冊に願いを込めて書き、笹に飾りました。最近ではめっきり見かけなくなった笹の葉飾り、そんな光景に皆さん楽しみながら飾りつけを行いました。下榎交流センターの玄関前にも設置しています。

さて、ここで七夕について調べてみました。

七夕は、７月７日に行う行事との考えが一般的だと思いますが、本来は旧暦（太陰太陽暦）の７月７日（現在の暦で８月初旬～中旬）に行われていました。

一部では、今も旧暦の７月に行われている地域もあります。有名なところでは、仙台の七夕祭りがあります。（８月６日～８日頃開催）

ここ日野町、わが村でも旧暦の７月に短冊に願いを書き、笹に飾っていました。

今でも多くの地域で親しまれている七夕ですが、いくつかの由来があることをご存じでしょうか？

七夕のもとになったのは、中国の「織姫と彦星」のお話です。天の川を挟んで、離れて暮らす二人の星が、年に一度７月７日の夜だけ会えるというロマンティックな伝説です。

このお話は、やがて日本にも伝わり、星に願いを込める行事として広まりました。小さい頃、「天候に恵まれて二人が会えればいいな」と思ったのは私だけではないと思います。

また、日本古来の「棚機・たなばた」という民俗信仰も七夕の由来の一つです。これは、乙女が機（はた）を織って神様に捧げ、豊作や無病息災を願う行事でした。こうした日本の風習や、中国の伝説が合わさり今の七夕のかたちができたといわれています。

さらに、旧暦の七夕の時期はお盆にも近く、祖先を迎える準備の意味合いも込められているともいわれています。

七夕は、古くから人々の「願いごと」や「感謝の気持ち」が込められてきた行事です。星に願いを込めるこの行事、この号が発行される時には、少し時期がずれますが遅くはありません。家族で、恋人と二人で、またはお一人でも、日野町の素晴らしい夜空を見上げて思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

▶老人憩の家・七夕飾り

≪　学習講座　≫

【土曜日・月１開催】　◆書道教室　▶時間：午後１時～　◆生け花教室　▶時間：午後１時30分～

【火曜日・月１開催】　◆手芸教室　▶時間：午後１時～

【水曜日・月１開催】　◆クラフト教室　▶時間：午後１時～　場所：下榎交流センター

【毎週木曜日開催】　◆百歳体操　▶時間：午後１時30分　場所：老人憩の家

※どなたでも参加できます。皆さんお気軽にお越しください。

日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動をしてるの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！

Vol.57

7/6（日）

根雨店開店！！
まつりと共に多くのお客さんが！

日野高ショップ根雨店オープン

３年次生の授業「総合実践」の一環として、例年行っている日野高ショップ根雨店。７月６日、日野町のイベント「海鮮（うみせん）・山鮮（やません） 夏のまげなもん祭」との共催で、金持テラスひので実施しました。オープニングイベントでは、本校郷土芸能部の演技で盛り上がりました。

日野高ショップとは、アグリライフ系列の生徒が育てた野菜や花、ケチャップ・味噌などの加工食品を商品として、情報ビジネス系列の生徒が販売実習を行う仕組みです。この日も町内外から多くのお客さんに足を止めてもらい、大盛況で終えることができました。

「しいたん広場」は、旧日野中学校の校舎を使った子どもの遊び場です♪

場所：旧日野中学校１階（野田 210）
開設日：毎週土曜、日曜
開設時間：午前 10 時～午後３時

しいたん広場の最新情報は Instagram を見てね！

しいたん広場インスタグラム
@ siitan_park
コチラを CHECK!

7/6（日）

しいたん広場 ga カラフル大変身！

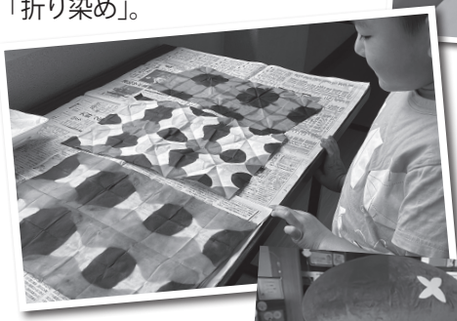
７月６日、しいたん広場開館２周年を記念して、「しいたん広場 ga カラフル大変身！」を開催しました。

６月にペイントした廊下の壁とカラフルに張り替えられたるんるんエリアの床のお披露目や、子どものアトリエニキッズにちなんプロデュースの折り染め体験、ランチにしいたんプレートが販売されるなど、盛りだくさんな一日でした。

カラフルに彩られたしいたん広場、ぜひ皆さん遊びに来てください♪

寝転んでも快適な遊びやすい床になったよ！

▼自分だけのオリジナルの模様が出来上がった「折り染め」。



▶しいたんも２周年をお祝いしに来てくれました♪

▲壁や床のリニューアルは、㈱赤松産業の企業版ふるさと納税の寄附により行われました。